

- 誰もが安心して医療が受けられる社会を目指して -

「難病・慢性疾患全国フォーラム 2018」のご案内

日頃より難病・長期慢性疾患・小児慢性疾患患者家族の活動に対し、ご理解とご支援をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

2010年より毎年開催して参りました、「難病・慢性疾患全国フォーラム」（昨年、一昨年は全国患者・家族集会として開催）を本年も別紙の要項の通り開催致します。

昨年の全国患者・家族集会においては、特別講演の講師として国際ジャーナリストの堤未果氏をお招きし、アメリカの医療制度について理解を深めることともに、日本の国民皆保険制度を堅持していくことの大切さを学びました。また、患者・家族がおかれている状況を8つの難病・慢性疾患団体が発表し、当事者が直面する困難や要望を社会に届けることができ、一定の成功を収めることができました。

本年は、難病法と改正児童福祉法（小児慢性特定疾病対策）が施行されてから3年が経過し、5年以内とされた見直しの時期を迎えることから、名称を再度「難病・慢性疾患全国フォーラム」として開催することと致しました。

第一部の患者・家族の声では、長年活動を続けてきた団体から設立後間もない希少疾患の団体まで、幅広い立場から当事者が抱えている問題や要望を発信します。また、第二部のパネルディスカッションでは、「難病法・児童福祉法の5年見直しについて」をテーマとして、患者団体・行政・医師のそれぞれの立場から課題や意見を述べ、見直しに向けての議論を行います。

この二つの法律は、誰もが安心して医療を受けられる社会を目指す上で、根幹をなすものであり、見直しには多くの議論が必要です。本フォーラムは、その議論のスタートを切るという意味で大変重要なフォーラムになります。

当日は多くの方々にご参加いただき、今後の議論や見直しの行く末に関心を持っていただきますよう、実行委員会を代表しまして心よりお願い申し上げます。

2018年（平成30年）10月5日

- 誰もが安心して医療が受けられる社会を目指して -

「難病・慢性疾患全国フォーラム2018」

実行委員長 伊藤 たてお